

横濱ゲートタワー「スタートギャラリー」
四方謙一「小さな光はやがて群れとなる」展示関連企画

四方謙一+野老朝雄 イブニングトーク

2025年12月5日[金] 18時～19時

会場：横濱ゲートタワーエントランス奥フリースペース（ドトールコーヒー入口前）

入場無料、予約不要　主催+問い合わせ：BankART1929 info@bankart1929.com 045-663-2812

横濱ゲートタワー「スタートギャラリー」で開催される四方謙一氏の展示「小さな光はやがて群れとなる」の関連企画として、展示初日にトークイベントを開催します。聞き手に、美術家で「東京2020オリンピック・パラリンピック」のエンブレムを考案したことでも知られる野老朝雄を迎える、四方謙一氏の作品とその仕事について詳しくお伺いします。より多くの方々に作品を身近に感じていただけるよう、また横濱ゲートタワーに就業する方が、帰宅途中に立ち寄っていただけるような気軽なイベントとして、建物エントランス部分にて開催します。申し込みや予約は不要です。みなさまお誘い合わせの上、ぜひお気軽にご来場ください。

登壇者経歴

野老朝雄（ところ・あさお）<https://tokolocom.com/>

1969年、東京生まれ。幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「つなげること」をテーマに紋様の制作を始め、美術・建築・デザインなど、分野の境界を跨ぐ活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいた定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計／制作も行なっている。主な作品に東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレム、大名古屋ビルディング下層部ガラスパターン、横浜コネクトスクエアパブリックアート、TOKOLO PATTERN MAGNETなど。



photo : Matthew Jordan Smith

四方謙一（しかた・けんいち）<https://shikatakenichi.com/>

1983年京都生まれ。2004年より野老朝雄氏に師事、2007年早稲田大学芸術学校を卒業。主に彫刻やインスタレーション、写真などを制作。奥能登国際芸術祭2020+、山口銀行賞を受賞した第28回UBEビエンナーレでの野外彫刻展示など多数の国際芸術祭への出展、またMIYASHITA PARK内の天井に設置された大規模作品、大阪国際空港の壁面6箇所に設置された作品群など、常設作品も数多く手掛けている。



展覧会概要 | 四方謙一「小さな光はやがて群れとなる Little lights become a crowd」

2025年12月5日[金]～2026年3月29日[日] 横濱ゲートタワー1F/Start Gallery 2+4

主催: 横濱ゲートタワー管理組合 + BankART1929 問い合わせ: BankART1929 info@bankart1929.com TEL 045-663-2812